

心理学域報告 (2017.4.1～2017.9.30)

I 人事異動

2017年4月1日

原田 隆之 教授 就任 [目白大学]
堀口 康太 特任助教 就任 [筑波大学人間総合科学研究科]

2017年7月1日

慶野 遥香 助教 就任 [東京大学]

II 学域構成員 (2017年9月30日現在)

		研 究 領 域					
	実 験	教育・認知	産業・社会	発 達	臨床・相談		
教 授	綾部 早穂	原田 悦子	相川 充	安藤 智子	沢宮 容子		
	一谷 幸男	茂呂 雄二	岡田 昌毅	大川 一郎	杉江 征		
	小川 園子		松井 豊	櫻井 茂男	原田 隆之		
	Constantine Pavlides			佐藤 有耕	藤生 英行		
				濱口 佳和			
准 教 授	加藤 克紀	外山 美樹	藤 桂		青木佐奈枝		
	山田 一夫		湯川進太郎		飯田 順子		
					大塚 泰正		
講 師					望月 聡		
助 教	高橋 阿貴				慶野 遥香		
					田附あえか		
					田中 崇恵		
特任助教	梶田麻菜美			千島 雄太			
				堀口 康太			
				水野 雅之			

Ⅲ 心理学域教員指導論文題目一覧

1. 2016年度 博士論文

(1) 課程博士

氏 名	論文題目	指導教員
心理学専攻		
上條菜美子	ストレスフルな体験における意味づけ過程の精緻化	湯川進太郎
仲嶺 真	社会的ネットワーク外の異性関係開始と女性の意思決定過程	松井 豊
新井田 統	ICT 利用における「待つ」行為への満足度 ——主観評価プロセスのモデル構築——	原田 悦子
市川 玲子	パーソナリティ障害傾向における自己・他者・関係性に対する認知の 特徴——個人の認知過程と対人間の認知過程の検討——	外山 美樹
ヒューマン・ケア科学専攻		
松本 昇	抑うつ脆弱性としての自伝的記憶の具体性の減少	望月 聡
山本 麻奈	薬物事犯者の特性を踏まえた処遇に関する研究： ニーズアセスメントツールの作成及びニーズと再犯との関連の検証	濱口 佳和
感性認知脳科学専攻		
岩村 越史	ラットの自発的物体再認記憶の検索における海馬グルタミン酸受容体の 役割に関する研究	一谷 幸男
仲田真理子	Roles of estrogen receptor β in the regulation of social behaviors in male mice	小川 園子
生涯発達科学専攻		
菊入みゆき	職場におけるモチベーション伝播に関する研究	岡田 昌毅
高橋南海子	就職活動を契機とした大学生の成長と入社後の適応	岡田 昌毅
堀口 康太	自立高齢者、要支援・要介護高齢者における自律性の総合的検討 ——社会的活動参加者、通所介護利用者の自律的動機づけに着目 して——	大川 一郎

(2) 論文博士

氏 名	論文題目	指導教員
ヒューマン・ケア科学専攻		
清水 貴裕	催眠反応性の生起メカニズムに関する臨床社会心理学的研究	沢宮 容子

2. 2016年度 修士論文

(1) 人間総合科学研究科

氏 名	論文題目	指導教員
心理専攻 心理基礎コース		
北本 遼太	福祉事業の企業に伴う新たなアレンジメント形成プロセスの質的検討 ——多様なステークホルダーの間で行われる「交換」に着目して——	茂呂 雄二
外山 拓未	視覚刺激の好意度に及ぼす注意の配分量と抑制の影響	綾部 早穂
長峯 聖人	ノスタルジアの適応的機能における想起内容の役割に関する検討 ——ノスタルジアの概念整理を踏まえて——	外山 美樹
中山 伸一	道具的自己と社会的行動の関連	櫻井 茂男
長谷川 莉子	擬人化エージェントのデザインがユーザーのエージェント認知と機器 利用へ及ぼす効果：探索的検討	原田 悦子
山岡 明奈	マインドワンダリングが創造的な問題解決に及ぼす影響 ——精神的健康とワーキングメモリ容量の個人差をふまえて——	湯川進太郎
渡邊 寛	多様な男性役割の構造の検討——伝統的な男性役割と新しい男性役割 を包括する4領域モデルの提案——	松井 豊
心理専攻 心理臨床コース		
赤瀬 直子	潜在的自尊感情と自己批判傾向が抑うつに及ぼす影響 ——顕在的自尊感情と潜在的自尊感情の差異に注目して——	望月 聡
浅川 萌生	良性／悪性妬みプロセス	望月 聡
大井 瞳	反すう思考の生起に影響を及ぼす状況要因の検討	望月 聡
岡野 絢也	競技に関する親の養育行動と子どものスポーツバーンアウトとの関連 ——「統制」の受け止め方に着目して——	杉江 征
尾上 七海	中学生の関係性攻撃被操作場面における対応行動の検討	濱口 佳和
久保 尊洋	パッションがウェルビーイングに与える影響 ——二元モデルの観点から——	沢宮 容子
佐藤 洋輔	LGBのメンタルヘルスの検討 ——心理媒介フレームワークの視点から——	沢宮 容子
高橋あすみ	教師の自殺予防の取組みに影響する要因の検討 ——生徒の自殺を防ぐために教師にどのような支援が必要か？	青木佐奈枝
高橋 歩実	不快な身体感覚に対する思考と健康観・身体症状との関連の検討	杉江 征
田中 大輔	相談者のネガティブ感情表出と被相談者の感情コントロールの関連 ——カウンセラー候補生を対象として——	青木佐奈枝
生田目 光	ポジティブボディイメージはメディアからの影響を緩和するか？	沢宮 容子
滑川 雄喜	ソーシャル・サポートの形成、発展、維持についての検討 ——プロセスモデルの作成と精神的健康との関連——	杉江 征
吉村 公利	催眠による記憶想起に関連する外的・内的要因の検討 ——暗示の種類と催眠態度・催眠状態信念に着目して——	杉江 征

感性認知脳科学専攻

田村 慎	近交系マウスにおける集団構造の発達の変化と心理特性との関連	加藤 克紀
中村 俊一	光遺伝学的手法による縫線核セロトニン産生細胞の神経活動の操作が 処女雌マウスの養育行動表出におよぼす効果	小川 園子

生涯発達専攻 カウンセリングコース

栗原 茂	女性の敏感肌の自覚に影響する心理的要因	松井 豊
内藤 明子	大学病院への転職を経験した看護師の適応	藤生 英行
栗ヶ窪令子	高等学校教員のワーク・エンゲイジメントに影響を与える要因の研究	飯田 順子
今井さやか	学習塾における心理的支援に関する検討	大川 一郎
大野亮一郎	大学の環境と相談担当者の認識が学生の就職相談に与える影響 ——初回面談時の相談行動に焦点を当てて——	岡田 昌毅
金子 明実	産業保健師のワークエンゲイジメントと関連する要因についての検討	大塚 泰正
川村 祐一	自立型高齢者向け住宅に住み替えた高齢者はどのようにして活動の場 や人間関係をつくっていくのか	大川 一郎
杉原 徹哉	中高齢就業者の仕事の意味の構造と影響要因の探索的検討	岡田 昌毅
高田 俊博	ストレスチェック法制化による企業の取り組みを従業員はどうとらえ るか	安藤 智子
高野 幸子	看護学生の望ましい看護行動に関する研究	藤生 英行
田中 義章	職場におけるムードメイキング行動が働く人に与える効果——場の空 気を読むメタ認知とムードメイキング行動の関連を通して——	大塚 泰正
茶山 裕	役職者の降格に伴う心理的变化に関する研究 ——不本意な降格人事の経験者を対象として——	大川 一郎
趙 丹寧	感動体験による短期的・長期的効果および感動体験の筆記がもたらす 影響——日本と中国の比較を通じて——	藤 桂
中井 弘晃	パラレルキャリアの開始要因と実践がもたらす効果 ——弱い紐帯の強みに着目して——	藤 桂
乗松 未央	若年就業者の組織市民行動への影響要因 ——性格特性と職場環境の相互作用効果に着目して——	飯田 順子
土方 美穂	大学生の自己変容行動の失敗が持つ意味 ——自分を変えられなかった経験からの学びとは——	藤 桂
平野 智子	訪問看護師の支援動機を支える要因 ——ケアリングの相互性と継承性の観点から——	藤 桂
真崎 昌子	思春期の子どもを持つ母親が親子の繋がりを捉え直していくプロセス ——親業訓練プログラムへの参加を通して——	飯田 順子
松本 和重	職業訓練指導員の離職者訓練業務熟達プロセスの探索的検討	岡田 昌毅
三浦亜紀子	大学受験に対する親の態度が子どもの独立性に及ぼす影響	安藤 智子
桃谷 裕子	職場のフィードバック環境およびサーバント・リーダーシップと ワーク・エンゲイジメントとの関連	大塚 泰正
山口 奏江	女性の昇進意欲に対する企業の具体的施策の有効性	松井 豊

(2) 教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻

氏 名	論文題目	指導教員
海沼 亮	中学生の友人関係に対する動機づけに関する研究 ——社会的達成目標に着目して——	櫻井 茂男
高地 雅就	中学生の高校受験観と学習動機ならびに適応との関連	櫻井 茂男

3. 2016年度 人間学群心理学類 卒業論文

氏 名	論文題目	指導教員
石崎 拓也	感謝感情と負債感情の生起に及ぼす要因の検討 ——対人親密度、対人援助コスト、返報期待の表明の効果——	相川 充
吉井 和樹	異性との関係開始のための非言語スキルに関する実験的検討	相川 充
市川佳央理	就職活動不安と就職活動の関連——認知的方略に着目して——	青木佐奈枝
清水 明夫	両親の夫婦間葛藤に対する青年の認知と結婚観との関連	青木佐奈枝
安里喬泰郎	嗅覚情報処理の違いがニオイの印象に与える影響	綾部 早穂
中村 海咲	赤は女性を本当に魅力的に見せるのか？	綾部 早穂
林 惇史	30秒の時間を正確にはかり続けられるのか？	綾部 早穂
金井 遙	学級風土が過剰適応に及ぼす影響 ——拒否回避欲求と対人的信頼感を媒介して——	飯田 順子
石垣 知也	ラットの自発的物体再認に対する遅延中の干渉物体提示の効果	一谷 幸男
曾根 真希	新生仔期グルタミン酸 NMDA 受容体慢性遮断ラットの潜在制止と アリピプラゾールの効果	一谷 幸男
北川 明佳	書道活動の捉え方を探る	宇佐美 慧
伊藤 美都	中高年期の夫婦の個人化志向と夫婦間コミュニケーション態度との関連	大川 一郎
栗田 寛之	ソーシャルサポートの互惠性とストレス開示抑制態度及び精神的健康 の関係	大塚 泰正
瀧澤 豪士	ポニーにおける奥行き知覚の検討	加藤 克紀
平山 咲月	やってよかった、やってもらってよかったと思われる学級委員とは ——リーダーシップ行動および性格特性に着目して——	櫻井 茂男
山ノ川 純	大学生における相談しない理由と適応との関連	櫻井 茂男
渡部 良太	露見場面・非露見場面における援助行動の検討	櫻井 茂男
那須 昂誠	現代の大学生が持つ心理的・行動的特徴の解明 ——背景となる要因との関連から——	佐藤 有耕
坂井 風子	大学生の日常生活における苛立ちごとの個人差と適応	佐藤 有耕
鈴木 瑞穂	就職活動による自己成長感に寄与する就職活動経験	佐藤 有耕
西澤 菜摘	諦めることに対する認知と精神的健康との関連	沢宮 容子
脇坂 直弥	愛着のあるモノと精神的健康との関連	沢宮 容子
渡邊 佑太	勇気が精神的健康に与える影響	沢宮 容子
岡部 楓子	学生におけるゆるしとゆるせなさの特性と個人要因の検討	杉江 征
小野寺美紀	被相談者の言葉かけが相談者の感情に与える影響	杉江 征
樋口 暁彦	他者軽視は他者への低い評価につながるのか ——領域の重要性・他者との関係性を考慮して——	外山 美樹

久保田直樹	表情刺激への多面的閾下単純接触効果 ——表情の感情価に着目して——	外山 美樹
小杉慎一郎	社会的規範の葛藤場面における迷惑行為と個人特性の関連 ——共感性・自意識に着目して——	外山 美樹
杉木 貴大	メタステレオタイプ操作と集団相互依存観が外集団に対する反応に及ぼす影響	外山 美樹
シブニエヴス キークシストフ アンドリュウ	Effect of sharp wave-ripple suppression on contextual fear memory 文脈恐怖記憶に対するシャープウェーブ・リップル抑制の効果	Pavlidis Constantine
姉崎 信	中学生の知覚された人気が能動的・反動的攻撃性に与える影響についての検討	濱口 佳和
西森 千咲	発達障害児・者の母親が持つ有益性発見と幸福感・ストレス反応の関連の検討——発達段階と障害種別に着目して——	濱口 佳和
畠山 美彩	夫婦間葛藤が青年の抑うつと攻撃行動に与える影響 ——親子の三角関係と青年の自己分化度を媒介して——	濱口 佳和
安藤 達志	音情報による予期は加減速の不安感を軽減させるか： 自動走行車を題材にして	原田 悦子
遠藤 裕輝	組立課題のマニュアルにおける動画の優位性の検討	原田 悦子
小野 瑞生	ステップ表示は機器の操作理解に役立つか？ ——学習志向性に着目して——	原田 悦子
小山 明莉	大学生と高齢者の世代間交流活動が及ぼす世代イメージの変容	原田 悦子
星野 航	実車両を用いた高度運転支援システムの学習プロセス ——機能イメージに着目して——	原田 悦子
横田 望	仮想現実環境没入時における身体化認知が思考の独創性に及ぼす影響 ——Virtual-Fly Effect の検討——	藤 桂
戸部真実也	大学生における薄毛男性に対する意識と薄毛への対処行動に関する研究	松井 豊
榊 絵里加	共感性が抑うつに与える影響の検討 ——他者意識・自己関連づけ・対人感受性・自己没入を媒介して——	望月 聡
染谷香葉絵	劣等感の程度・捉え方がスピーチ課題でのパフォーマンスに及ぼす影響	望月 聡
荒井 順士	ラットの放射状迷路学習における海馬グルタミン酸 NMDA 受容体の関与：文脈の異なる空間での再学習の影響	山田 一夫
市川 晃	幼若期ストレスによって誘発される条件性恐怖反応増強に及ぼす tickling の効果	山田 一夫
岡部 聡美	REM 睡眠中に提示された嗅覚刺激の好悪が夢の諸側面に及ぼす影響	山田 一夫
豊島 理公	ラットの飼育環境が物体・社会的再認記憶に及ぼす影響	山田 一夫
本間 遙	ラットの新生仔期に経験した香りが成体期での不安行動に与える影響	山田 一夫
伊藤 翼	フローとマインドフルネスの関連 ——音楽ライブパフォーマンスに着目して——	湯川進太郎
望月 哲	腹式呼吸法と認知的再評価の不快感制御効果と内受容感覚との関連	湯川進太郎

IV 2016年度各種表彰など

氏 名	受賞名	受賞対象論文・発表題目名(掲載誌),または受賞理由
心理学域		
相川 充	独立行政法人日本学術振興会 平成27年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員の表彰 (日本学術振興会, 2016年9月)	特別研究員事業及び国際交流事業に係る書面審査において、有意義な審査意見を付した専門委員として表彰された。
綾部 早穂	平成28年度人間系優秀教員賞 (筑波大学, 2017年2月)	筑波大学の大学教員業績評価により、その業績が優れている教員として、表彰を受けた。
一谷 幸男	平成28年度人間系優秀教員賞 (筑波大学, 2017年2月)	筑波大学の大学教員業績評価により、その業績が優れている教員として、表彰を受けた。
大塚 泰正	日本産業衛生学会 産業衛生学雑誌優秀論文賞 (日本産業衛生学会, 2016年5月)	堀田裕司・大塚泰正(2015). 職場における対人的援助向上プログラムの効果評価 産業衛生学雑誌, 57(5), 219-229.
相田麻菜美	第5回松原学術奨励賞 (筑波大学心友会, 2016年9月)	Sugita, M., Yamada, K., Iguchi, N., & Ichitani, Y. (2015). Hippocampal NMDA receptors are involved in rats' spontaneous object recognition only under high memory load condition. <i>Brain Research</i> , 1624, 370-379.
外山 美樹	日本パーソナリティ心理学会第25回(2016年)優秀大会発表賞 (日本パーソナリティ心理学会, 2016年9月)	外山美樹(2016). 楽観性が代替的な目標の抑制に及ぼす影響 日本パーソナリティ心理学会第25回大会
濱口 佳和	第14回日本生殖心理学会・学術集会 口述発表優秀賞 (日本生殖心理学会, 2017年2月)	黒澤和代・濱口佳和(2017). 女性の不妊治療と仕事の自己調整プロセス 第14回日本生殖心理学会・学術集会
原田 悦子	The 2017 Annual Conference of the Korean Society for Cognitive and Biological Psychology, the Best Presenter Award (The Korean Society for Cognitive and Biological Psychology, 2017年1月)	Ikenaga, M., Harada, T. E., Tanaka, S., & Koyama, A. (2017). Effects of differential roles of younger- and older- adults in inter generational communication. <i>The 2017 Annual Conference of the Korean Society for Cognitive and Biological Psychology</i> .
藤 桂	筑波大学若手教員奨励賞 (筑波大学, 2017年2月)	筑波大学の研究力向上に貢献し、業績をあげた若手教員として表彰された。
藤 桂	日本心理学会第79回大会 特別優秀発表賞 (日本心理学会, 2016年6月)	藤 桂・遠藤寛子(2015). ネガティブツイートの背景にある思いとは——ネガティブ感情体験後の制御欲求尺度の開発を通して—— 日本心理学会第79回大会
藤 桂	日本心理学会第79回大会 特別優秀発表賞 (日本心理学会, 2016年6月)	柳田宗孝・荒井崇史・藤 桂(2015). サクセスフル・サイコパスへの第一の条件——日本語版 Self-Report Psychopathy Scale 短縮版の開発を通して—— 日本心理学会第79回大会

- 藤 桂 日本心理学会第79回大会 特別優秀発表賞
(日本心理学会, 2016年 6 月)
- 藤 桂 日本心理学会第79回大会 特別優秀発表賞
(日本心理学会, 2016年 6 月)
- 水野 雅之 奨励研究
(日本キャリアデザイン学会, 2016年 9 月~2017年 8 月)
- 望月 聡 日本感情心理学会2015年度学術貢献賞
(日本感情心理学会, 2016年 6 月)

富塚澄江・藤 桂 (2015). 生は死への旅路, 死は健康への道筋——死に対する意識が健康行動習慣に及ぼす影響—— 日本心理学会第79回大会

塩田直樹・藤 桂 (2015). 涙があるからこそ, 私は前に進める——社会人における“泣くこと”の心理的効果—— 日本心理学会第79回大会

「就職活動に対する認知的評価とコーピングが就職活動に及ぼす影響——セルフ・コンパッションに着目して——」が採択され, 研究助成金10万円を受領した。

「感情心理学研究」に3回論文が掲載され, 感情心理学の発展に特に貢献したため, 表彰された。

心理学専攻

- 市川 玲子 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻長賞
(筑波大学, 2017年 3 月)
- 上條菜美子 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞
(筑波大学, 2017年 3 月)
- 上條菜美子 平成27年度独創研究—内山記念賞
(日本カウンセリング学会, 2016年 7 月)
- 仲嶺 真 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻長賞
(筑波大学, 2017年 3 月)
- 仲嶺 真 平成27年度学術大会優秀発表賞
(日本心理学会, 2016年 6 月)
- 仲嶺 真 平成28年度日本応用心理学会学会賞 (奨励賞)
(日本応用心理学会, 2016年 9 月)
- 陳 晶晶 外国人留学生奨励費
(文部科学省)

パーソナリティ障害傾向における自己・他者・関係性に対する認知の特徴——個人の認知過程と対人間の認知過程の検討—— 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻博士論文

ストレスフルな体験における意味づけ過程の精緻化

平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻博士論文

上條菜美子・湯川進太郎 (2014). ストレスフルな出来事に対する主観的評価と意味づけ動機——場面想定法を用いた基礎的検討—— カウンセリング研究, 47, 137-146.

社会的ネットワーク外の異性関係開始と女性の意思決定過程 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻博士論文

仲嶺 真・小林麻衣子・藤田浩之・高橋幸子・松井豊 (2015). 地下鉄サリン事件被害者の心的外傷性ストレス症状の規定要因 日本心理学会第79回大会

仲嶺 真 (2015). 大学生における街中での異性関係開始——男女間の相互作用に着目して—— 応用心理学研究, 41, 77-86.

学業成績優秀につき576,000円を受領した。

感性認知脳科学専攻

- 岩村 越史 平成28年度感性認知脳科学専攻優秀学位論文賞
(筑波大学, 2017年 3 月)
- 仲田真理子 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞
(筑波大学, 2017年 3 月)

ラットの自発的物体再認記憶の検索における海馬グルタミン酸受容体の役割に関する研究 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻博士論文

Roles of estrogen receptor β in the regulation of social behaviors in male mice. 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻博士論文

ヒューマン・ケア科学専攻

菅原 大地 日本自律訓練学会第39回大会優秀研究発表賞
(日本自律訓練学会, 2016年9月)

松本 昇 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻長賞
(筑波大学, 2017年3月)

山本 麻奈 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻長賞
(筑波大学, 2017年3月)

菅原大地・堀田 亮・高橋歩実・佐々木恵理・中谷隆子・山田圭介・杉江 征 (2016). 認知傾向と自律訓練法の効果との関連——各心理療法に関する認知傾向の共通性と個別性の探索—— 日本自律訓練学会第39回大会

抑うつ脆弱性としての自伝的記憶の具体性の減少
平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻博士論文

薬物事犯者の特性を踏まえた処遇に関する研究：ニーズアセスメントツールの作成及びニーズと再犯との関連の検証 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻博士論文

生涯発達科学専攻

堀口 康太 平成28年度筑波大学人間総合科学研究科長賞
(筑波大学, 2017年3月)

自立高齢者、要支援・要介護高齢者における自律性の総合的検討——社会的活動参加者、通所介護利用者の自律的動機づけに着目して—— 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻博士論文

心理専攻

池永 将和 優秀発表賞
(The Korean Social for Cognitive and Biological Psychology, 2017年1月)

Effect of differential roles of younger- and older-adults in inter-generational communication. *The Korean Journal of Cognitive and Biological Psychology*.

岡野 絢也 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻長賞
(筑波大学, 2017年3月)

競技に関する親の養育行動と子どものスポーツバーンアウトとの関連——「統制」の受け止め方に着目して—— 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文

高山 奈央 菊地正記念研究支援基金 研究発表奨励金
(菊地正記念研究支援基金, 2016年4月)

Consistency of odor perception: Comparison by the number of components of the odor mixtures. *Association for Chemoreception Sciences* 2016.

長峯 聖人 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻長賞
(筑波大学, 2017年3月)

ノスタルジアの適応的機能における想起内容の役割に関する検討——ノスタルジアの概念整理を踏まえて—— 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文

長峯 聖人 平成28年度茗溪会賞
(筑波大学, 2017年3月)

NPO 法人教育テスト研究センター (CRET) での連携研究員としての教育に関する研究活動、土浦市内の小学校における学生指導員としての活動、筑西市の適応指導教室における相談員としての活動が認められ、本表彰に相応しいとの評価を受けた。

山岡 明奈	大学院生・若手研究者海外学会発表支援制度 (日本社会心理学会, 2016年5月)	Mind-wandering improves creative problem solving. <i>2nd International Conference on Mindfulness.</i>
山岡 明奈	平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科長賞 (筑波大学, 2017年3月)	マインドワンダリングが創造的な問題解決に及ぼす影響——精神的健康とワーキングメモリ容量の個人差をふまえて—— 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻修士論文
山岡 明奈	海外留学支援事業(はばたけ! 筑波大生) 海外学会等参加支援プログラム (筑波大学, 2017年3月)	The relationship among mind-wandering, creativity and mental health. <i>International Conference on Spirituality and Psychology 2017.</i>
山岡 明奈	海外留学支援事業(はばたけ! 筑波大生) キャンパスインキャンパス等支援プログラム (筑波大学, 2017年1月)	平成29年度1月30日から2月3日まで、ボルドー大学ヴィクトワールキャンパスに渡航し、旅費支援として150,000円を受領した。
渡邊 寛	海外留学支援事業(はばたけ! 筑波大生) 海外学会等参加支援プログラム (筑波大学, 2017年3月)	Development of the Traditional Male Roles Scale in Japanese. <i>International Conference on Spirituality and Psychology 2017.</i>

生涯発達専攻 カウンセリングコース

趙 丹寧	平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻長賞 (筑波大学, 2017年3月)	感動体験による短期的・長期的効果および感動体験の筆記がもたらす影響——日本と中国の比較を通じて—— 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻修士論文
山口 奏江	平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻長賞 (筑波大学, 2017年3月)	女性の昇進意欲に対する企業の具体的施策の有効性 平成28年度筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻修士論文
平野 智子	茗溪会賞 (筑波大学, 2017年3月)	地域訪問看護事業に対する支援及び貢献が認められ、本表彰に相応しいとの評価を受けた。

心理学類

金井 遥	平成28年度人間学群長賞 (筑波大学, 2017年3月)	修学, 卒業研究, 課外活動において優秀な成績を収めた学生として表彰を受けた。
清水 明夫	平成28年度茗溪会筑波大学支部賞 (筑波大学, 2017年3月)	顕著な課外活動を行った学生として表彰を受けた。
シブニエヴスキークシストフ・アントリュー	平成28年度人間学群長賞 (筑波大学, 2017年3月)	修学, 卒業研究において優秀な成績を収めた学生として表彰を受けた。